

# 小河一敏関係文書目録

2015年11月 PDF作成

国立国会図書館憲政資料室

## 小河一敏関係文書目録【目次】

書簡の部	_____	p.1
書類の部	_____	p.10
小河一敏著作	.....	p.10
小河一敏意見書・党書	.....	p.10
小河一敏辞令・通牒	.....	p.11
小河家関係 含一敏伝記資料	.....	p.13
第三者著作・草稿	.....	p.14

小河一敏関係文書(書簡の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	作成年	内容	数量	備考
<b>書簡の部</b>								
1		阿野中納言書簡	阿野中納言	小河一敏	2月10日	大鳥社社司の件で面謁を遂げたく今日か明後日にご出頭願う	1通	
2		阿蘇前大宮司書簡	阿蘇前大宮司	小河一敏	[明治4年]2月28日	至尊のお側近きご官務珍重、今日日本は攘夷家と洋病家との騒動ばかり、今日の状況へのお見込みお聞かせ願う、倅の様子	1通	
3		阿蘇惟敦書簡	阿蘇惟敦	小河一敏	5月6日	野尻義右衛門所蔵の岩倉家先代詩草の件、熊本人武藤巖雄が編集したのについて、福羽発起の好古社について	1通	
4		坊城俊政書簡	坊城俊政	小河一敏	5月19日	改元日限は公卿補任で調べたので間違いはない	1通	
5	1	醍醐忠順書簡	醍醐忠順	小河一敏	[慶応4年]5月8日	従五位下宣下の書付一通送付す	1通	
5	2	醍醐忠順書簡	醍醐忠順	小河一敏	5月13日	閑院宮直仁親王の御子淳宮は鷹司家を相続したと聞いたが確証はないので鷹司家に郵便で聞き合わせた方がよからう	1通	
5	3	醍醐忠順書簡	醍醐忠順	小河一敏	[慶応4年]7月21日	叙爵御書付は取紛れそのまま手元にあったがひとまず返却す、御請又はご猶予共弁官事へ申上げられるべし	1通	
6		江川成之書簡	江川成之	小河一敏	明治11年4月17日	岡田栄之助との金銀作り矢立を巡る訴訟は本日堺支庁へ出頭し解訟が聞き届けられた、即刻代価をお渡しくださるようお願い	1通	
7	1	郷田兼徳書簡	郷田兼徳	小河一敏	1月12日	旧臘出京時は挨拶に伺えず残念、今般勲等並びに双光旭日章御拝賜の由雀躍の至り	1通	
7	2	郷田兼徳書簡	郷田兼徳	小河一敏	2月27日	お申越しの本阿弥の儀についてはなお地稅など得と取調べの上返答す	1通	
7	3	郷田兼徳書簡	郷田兼徳	小河一敏	12月26日	本阿弥は旧政府の御用達町人の類、御省でお取立てになっても当府は故障筋なし、ただし身分が曖昧なものは他にもおり本阿弥一人を差し出しては他にも差響くか	1通	
7	4	郷田兼徳書簡	郷田兼徳	小河一敏	[明治11年]12月23日	廉夫君の件川路警視に話をしたが当今戦地帰りや徴募の人員が多く此涯お受けいたしがたいとのこと、当地銀行創立のため取り急ぎ出発したこと悪しからずお含み願う	1通	
8		五条為栄書簡	五条為栄	小河一敏	明治12年10月16日	神鏡お預かり証書	1通	
9	1	[橋本実梁書簡]	[橋本実梁]	小河一敏	明治7年2月	お預かり中の宣旨が焼失したため書き改めたものを相渡す、御璽も焼失したため新御璽を押印した旨式部頭坊城俊政殿ご演舌これあり	1通	

小河一敏関係文書(書簡の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	作成年	内容	数量	備考
9	2	橋本実梁書簡	橋本実梁	小河一敏	11月10日	宣旨年次の件は大分県へ寮から渡したものであるので県を通じて寮に差し出すべし、差し出されたら速やかに書き改めてお戻しする	1通	
10		服部有喜書簡	服部有喜	小河一敏	明治13年10月23日	息子雄吉が海軍兵学校に入るに当たり身上引請証人を引き受けてくれたことへの礼	1通	
11		広瀬重武書簡	広瀬重武	小河忠夫	明治22年1月25日	建碑の事についての西村知事の発言報知、東京での入費及び集金見込みをお知らせ願う	1通	
12		堀川従五位書簡	堀川従五位	小河一敏	11月15日	別紙名前の者の継家相続について内願	1通	
13		藤田一郎書簡	藤田一郎	小河一敏	5月21日	武藤君の書状返却	1通	
14		伊丹重賢書簡	伊丹重賢	小河忠夫	明治22年6月29日	過日ご送付の立木払下げ願書についてご教示願う	1通	
15		香川敬三書簡	香川敬三	小河一敏	1月13日	ご訪問時不在にて失敬、矢島某書面一見す、いづれそのうち拝顔を得万縷申し述べ	1通	
16		楫取素彦書簡	楫取素彦	小河一敏	明治16年5月9日	井上氏著述の『修身訓蒙』落手、群馬県下では明治11年に小生創意で『修身説約』を編纂し教科書に充用、1日の前橋市街火災で返事が遅れたがご諒恕ねがう	1通	
17	1	岸良俊介書簡	岸良俊介	小河一敏	明治15年8月4日	伏水寺田屋一件では種々ご高配深謝、福岡士族小河はいずれも播磨国小河より出し者の由、古田織部流の茶事を心得るものの連絡先報知	1通	
17	2	岸良俊介書簡	岸良俊介	小河一敏	明治16年7月7日	本月下旬には帰県と考え居り候、日限決まったらお知らせする	1通	
18		古賀定雄書簡	古賀定雄	小河一敏	5月9日	覚書三十五巻差し上げ候間貴課より御請取お遣わし願う、鎮西志は今暫く留め置きたし	1通	
19		小宮山綏介書簡	小宮山綏介	小河一敏	3月2日	文書纂の返却につき、岡藩関係書類の調査につき	1通	
20		黒木常書簡	黒木常	小河一敏	明治17年9月11日	小河一敏子息逝去のお悔み状	1通	
21		丸山作楽書簡	丸山作楽	小河一敏	6月3日	今朝は用向き叶わず残念	1通	
22	1	松村秀実書簡	松村秀実	小河一敏	7月13日	かつて願い置いた摺物・斡旋人名・御令弟様のことなど洩らさず拝承、この上有益な見聞あれば御聞示願う	1通	
22	2	松村秀実書簡	松村秀実	小河一敏	4月30日	拝借の書類は謄写済につき返却す、身上の儀は今暫く自然に付し築地の先生の指示を待ち追って着手すべし、藤田には未だ書状出さず	1通	
23		三宅武彦書簡	三宅武彦	小河一敏	8月1日	加茂百十への御状通送、月性上人首巻の所在について	1通	

小河一敏関係文書(書簡の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	作成年	内容	数量	備考
24	1	村山松根書簡	村山松根	小河一敏	明治12年12月1日	自己の履歴、藤井経徳の履歴	1通	
24	2	村山松根書簡	村山松根	小河一敏	1月14日	元号訂正、三樹三郎の八郎への改称について	1通	
25		中川伝次郎・小河六郎左衛門書簡(コピー)	中川伝次郎・小河六郎左衛門	田中織衛ほか	9月	弥右衛門の所業についての寛大の処置を乞う歎願	1通	
26		中川久昭(従五位)書簡	中川久昭(従五位)	小河一敏	10月15日	京都府招魂社への金円寄附の件は委細ご帰京の上相談、藤右衛門の件も延引	1通	
27	1	中川濤太郎書簡	中川濤太郎	小河一敏	10月21日	父の履歴を送ることは承知、しかし学校の世話については自分は関与しておらず筆記物も焼失しているため大分で調査中であり遅くなる	1通	(付)メモ2枚
27	2	中川濤太郎書簡	中川濤太郎	小河一敏	[明治16年]11月8日	父の最期の様子について、埋葬地について	1通	
27	3	中川濤太郎書簡	中川濤太郎	小河一敏	2月29日	柴山両賀の件は御覚の通り相違なし、岡城の凶送付感謝、父の履歴については追って返書す	1通	
28	1	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	明治14年4月30日	私の解任以降は宿にて重雄に教授し重雄は大いに進歩し今月より学校に従事、旧主家の事は何分運びつかず困却、「明烏」落手、旧主家の所蔵品の行方について	1通	
28	2	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	2月27日	副島先生聞書類の義についてご勘考くだされたし、本年は志津ヶ岳300年祭で自家祖宗の祭典修行につき祝詞文撰著願う	1通	
28	3	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	9月18日	戸伏のための募金出金状況、廉夫辞職の件について、御父子様刑律お逃れ重畳	1通	
28	4	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	7月23日	南方と潜叟への書簡など書簡数通拝受、不染斎随筆云々敬承、養老俸御内旨は菅公の冥助ありがたし、中川社昇格の願書につき、ご家譜の抜粋別紙差し上げ	1通	
28	5	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	[明治14年]7月5日	宮内省御用掛月給50円御拝命めでたし	1通	
28	6	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	7月5日	本月一日に郡書記に任ぜられ取締兼務、従五位様より碧雲寺への通達写しの入手について富永に依頼した	1通	
28	7	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	8月2日	従五位様よりの通達写しを富永が送ったようだがそれについて不審な点がある	1通	
28	8	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	7月16日	「明烏」十部お下し願う、久悠も野殿も気の毒なること	1通	
28	9	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	9月10日	台湾事は重大事件で国の存亡此の一挙にあるべし、桂出京以来の心底について、家禄奉還の件について	1通	前欠

小河一敏関係文書(書簡の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	作成年	内容	数量	備考
28	10	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏		「不染斎随筆」に記載されている楽器・茶道具・刀剣などの事について	1通	28-11の別紙カ
28	11	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	3月2日	お問い合わせの件につき「不染斎随筆」の内容を別紙に記し送る、自筆本とその写本の配置について、久悠の不体裁について	1通	
28	12	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	4月5日	国教一件如何の運びになり候や、神祇省は如何なるや、伊勢神官庁の動向について、「猪首語読篇」落手	1通	
28	13	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	[明治15年]8月9日	岡城図ようやく出来送付す、おちせの西福寺行きは破談と宇都宮健哉より書状到来、それにつき調べた該寺の内証について	1通	
28	14	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	[明治15年]9月5日	蝮川事驚愕、岡城図一見もせぬ内とは猶更残念、岡城図銅版出版の際の宗六翁の扱いについて、清秀公ご贈位の件	1通	
28	15	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	4月28日	副島殿ご執筆のご神体について、浦部家蔵の藤樹先生の書について、「近世人鏡録」について、久方軍法書について、ご太祖様ご贈位のことは阿南に申し置く	1通	(付)書状断片
28	16	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	10月8日	勘三郎はお千代の迎えに急に仙台へ出立、■四郎との和議は思いもよらないがお順だけとは和議が成るようにしたい、勘三郎家の商売向・相続について、大学部内皇典課の教官人事について	1通	
28	17	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	9月28日	大船山のご神体の納め時期について、当家洵兵衛二代のことについて	1通	
28	18	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	明治15年6月6日	家系につき種々の調査有難し、御太祖様の我弟洵兵衛云々という言葉について、中川家の番さし物について、岡城絵図のことについて、日野殿より大船山のことでお尋ねあり、入子笛の件、御一新以来の氏子替の風潮について、久悠連累のものまで案外の重科	1通	
28	19	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	明治15年6月20日	洪水にて橋流失、岡城図は六翁が尽力着手中、副島師の活版数枚落手、別紙お答え差出す	1通	
28	20	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河一敏	7月16日	川向熊田の秘蔵書の事について、「しみのすみか」は観山君御一世の事を詳述したるもの	1通	(付)(1)中川潜叟宛小河一敏書簡、1通 / (2)メモ、6枚
28	21	中川潜叟書簡	中川潜叟	小河忠夫	8月30日	五円為換落手、以後ご無理の差略なきよう、朝鮮事件について	1通	

小河一敏関係文書(書簡の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	作成年	内容	数量	備考
29		豊書簡	豊	中川	3月13日	小河殿ご両人の令嬢と面晤の依頼について	1通	
30		中田憲信書簡	中田憲信	小河一敏	3月12日	兵庫裁判所支配役のことについて	1通	
31		日宣書簡(コピー)	日宣	小河六郎左衛門	慶応4年4月7日	長遠院様250回忌への香典受納、一如院木像送付、御免許次第隠居の積りで後住はすでに決まっている	1通	
32	1	野溝清格書簡	野溝清格	小河一敏	9月〔13日〕	近況報告、今日の世相について	1通	
32	2	野溝清格書簡	野溝清格	小河一敏	6月28日	寛叔先生の事跡につき、老兄春ご交代との噂を聞くが実にならぬようご用心願う、田島より聞いた一件についてのお答え承知	1通	
32	3	野溝清格書簡	野溝清格	小河一敏	5月28日	気候について、藤崎八幡近所小笠原屋敷前での果し合いの件	1通	後欠
32	4	野溝清格書簡	野溝清格	小河一敏	8月13日	山中鹿之助の願望につき、朝倉吟味格勤の件、三宅山猪鹿狼の件	1通	
32	5	野溝清格書簡	野溝清格	小河一敏	12月4日	日置流について	1通	前後欠
32	6	野溝清格書簡	野溝清格	小河一敏	12月28日	猪口の方呑み勝手につき其の内お下し願う、人の評判も日月立つに従い薄らぐは人情の習い、紀州木村左内伝のにべ弓うらやまし	1通	前欠
32	7	野溝清格書簡	野溝清格	小河一敏	5月13日	平岩様の評判につき、桜馬場太夫らの出勤状況についての噂、処世の態度について	1通	前欠
32	8	野溝清格書簡	野溝清格	小河一敏	2月28日	津藩吉田へのお答えの義、家臣の家筋につき、近藤の話承る、弓の技術について	1通	前欠
32	9	〔野溝清格意見書〕	〔野溝清格〕		亥4月	文武修行のあり方について、若者の風俗について	1通	
32	10	野溝清格書簡	野溝清格	小河一敏	2月28日	気候について、名家種々の人に御出會都会の御学問成るべき由至極の御心掛け	1通	後欠
32	11	〔野溝清格意見書〕	〔野溝清格〕		天保9年4月14日	獵について	1通	後欠
32	12	〔野溝清格意見書断簡〕	〔野溝清格〕			水練・責馬について	1通	後欠
32	13	〔野溝清格書簡断簡〕	〔野溝清格〕	小河一敏		長谷川という人物について	1通	32-15の別紙カ
32	14	〔野溝清格意見書断簡〕	〔野溝清格〕			文武修行振興について	1通	前欠
32	15	〔野溝清格書簡断簡〕	〔野溝清格〕	小河一敏		人形八幡羽文お写しについて、別紙にて長谷川の事申上げる	1通	前欠
32	16	野溝清格書簡	野溝清格	小河一敏	3月10日	行状について、柳井のことにつき、寛叔先生の事跡拝見延引、肅相国・高祖の御返答面白し、孫介昇進筋の儀、など	1通	前欠
32	17	野溝清格書簡	野溝清格	小河一敏	4月28日	此の節紀州出はお止め然るべし、神奈川遠乗り厄難の件、弓の的につき、吉田流印西派など云々	1通	

小河一敏関係文書(書簡の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	作成年	内容	数量	備考
33		野尻維則書簡	野尻維則	小河一敏	6月21日	先年の名刀恵与への礼、私先代と高山仲繩先生との交際の件につき阿蘇家へお取遣わしの件感謝、岩倉殿ご先代高山方へ送別の詩写送付	1通	
34	1-1	小河一敏書簡(案)	小河一敏	平野種二	明治16年6月1日	先年譲った『回天管見策』の跋文を見たいので郵送願う、二郎君の直書・号について	1通	
34	1-2	小河一敏書簡(案)	小河一敏	平野種二	9月16日	御亡父建碑の件、『回天管見策』について	1通	(付)封筒断簡(海賀某)
34	2	小河一敏書簡	小河一敏	広瀬・忠夫	7月18日	忠夫執行振のこと聞いた、成るだけ早く当地へ参るよう、船に乗る際の心得	1通	
34	3	小河一敏意見書	小河一敏	[宛先不明]	[明治3年9月]	去月20日堺県知事免官恐縮、税所篤の堺県知事任官時の県吏人事について、今後の自らの進退について	1通	
34	4	小河一敏書簡	小河一敏	小河忠夫	明治15年9月26日	忠夫の帰府のことなどにつき武井(守正)との会見内容報知	1通	
34	5-1	小河一敏書簡	小河一敏	中川潜叟	明治16年10月13日	猪首語本篇並拾遺草稿落手、長慎事についての話も承知、余慶勘右衛門の実名お知らせ願う、安食範五郎とは範八郎の誤写ではないか、渡辺への叡感状の写しは田近・赤座は必要としているか確認願う	1通	
34	5-2	小河一敏書簡	小河一敏	中川潜叟	6月14日	猪首語拾遺についての問い合わせに回答願う、登高社の件、山岸年譜の件、「不染斎随筆」一部を潜叟が預かるのは如何	1通	前欠
34	6-1	小河一敏書簡	小河一敏	常二郎	明治16年9月12日	潜叟から「猪首語拾遺」に載せるべき分をその方に写させたと聞いたので早々に送付願う	1通	
34	6-2	小河一敏書簡	小河一敏	中川潜叟	明治16年10月1日	福島正則の書を博物館に納める件は如何、未だそのままならば御本書を悉く東京にお登せ願う、望東は「近世義烈伝」にある由だが紛失したため常二郎に写させて送ってほしい、赤座・天野の事がわかったらお知らせ願う、忠夫の妾を本妻に直す件	1通	
34	7	[小河一敏] 書簡	[小河一敏]	阿南尚	[明治16年]11月3日	岡城図開板の遅れについて、中川潜叟死去は残念	1通	控
34	8	[小河一敏] 書簡	[小河一敏]	[宛先不明]	10月11日	東行について貴諭の旨加藤と申談じ候結果報告	1通	
34	9-1	小河一敏書簡(案)	小河一敏	[宛先不明]		御出府ご出立前のご配意のことはその通りに相成る、弓系図のこと	1通	後欠



小河一敏関係文書(書簡の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	作成年	内容	数量	備考
34	9-2	小河一敏書簡(案)	小河一敏	[宛先不明]		一敏管轄地困窮のため上京し民部・大蔵両省に申達さんとせしが上京にも伺いが必要とのことで見合わせ、東京に皇居造営との噂に愕然	1通	
34	9-3	小河一敏書簡(案)	小河一敏	[宛先不明]		民部・大蔵両省の扱い・人事などについて	1通	
34	9-4	小河一敏書簡(案)	小河一敏	[宛先不明]		西郷・有村・近藤の行動について	1通	前欠
34	9-5	小河一敏書簡(案)	小河一敏	[宛先不明]		紀州出の節の事	1通	破損・後欠
34	9-6	小河一敏書簡(案)	小河一敏	[宛先不明]	11月	此の義は人臣の議する所にこれ無し、見込みを付けずして伺い奉るべし	1通	
35	1	小河一順書簡	小河一順	小河一敏	[明治4年]2月29日	お扶持米の金額について、宝積丸船頭からの返済金の件、書物五部送付す、忠夫病状につき、ほか	1通	
35	2	小河一順書簡	小河一順	小河一敏	2月17日	岩倉殿の御詠差し上げ申す、井久津への短刀落手、波田村まき・岡田稲蔵へ下されものへの礼の件、忠夫のことについて	1通	前欠カ
36		小河ゆき書簡	小河ゆき	小河一敏	6月11日	廉夫の病状について、ほか	1通	
37		小河常次郎書簡	小河常次郎	小河一敏	明治17年6月13日	廉夫病状見舞い	1通	
38		奥野丑次郎書簡	奥野丑次郎	小河一敏	明治18年5月29日	別紙祝詞並びに式の概況ご送致、詳細は矢野主事より報道相成るべし	1通	
39	1	坂田潔書簡	坂田潔	小河一敏	[明治3年]4月14日	天下の為ご自愛ご尽力祈る	1通	
39	2	坂田潔書簡	坂田潔	小河一敏	21日	清原へお答えのご文意は至当公平と存ず、小生も一封差し上げるので同送願う	1通	
39	3	坂田潔書簡	坂田潔	小河一敏	5日	前原送別は吉井少輔へも相談し一同罷り出るべし、清原免職ありがたし	1通	
40		柴田家門書簡	柴田家門	小川孝子	明治42年4月29日	大学よりの代金請求書の扱いについて	1通	(付)柴田家門領収書
41		杉浦重剛書簡	杉浦重剛	小河忠夫	6月15日	副島氏への献上品について、久邇宮様へも一言申し上げおいた、義夫様ご大病につき	1通	(付)(1)杉浦重剛書簡、1通 / (2)広瀬武夫写真、1枚
42		田能村小麗書簡	田能村小麗	小河一敏	9月23日	小石氏よりの葉書呈上、僕も東上の心組	1通	
43		田近陽一郎書簡	田近陽一郎	小河一敏・小河廉夫	9月16日	出京時ご伝言の内容を武衛様にお伝え申上げた、桂氏左膳様には追ってお伝えす、小野金馬・勘三郎にも未だ出会う、藤本鉄石扇面進上	1通	
44		戸田忠至書簡	戸田忠至	小河一敏	12月11日	河州支配地村々からの申し遣わしの趣通知感謝、入費を減らすため村方に役場を設けたが庄屋共が不正を働くとは嘆息	1通	
45		森下景端書簡	森下景端	小河一敏	11月27日	帰県後風災の処分にて公務多事、志賀の書について報告、皇室御系統山陵の儀は書抜きもでき教部省へ差し出した	1通	

小河一敏関係文書(書簡の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	作成年	内容	数量	備考
46		渡辺長慎書簡	渡辺長慎	小河一敏	明治17年1月13日	年始あいさつ、御編集の材料調べの状況について、叡感御書石板刷りの件、中川潜叟死去のお悔やみ、潜叟死去後は肝胆を吐露すべき相手なし	1通	
47		山口菊次郎書簡	山口菊次郎	小河一敏	明治14年8月3日	御次女様御所にお勤めになる由めでたし、池田家よりお手当頂戴次第金円を渡したい	1通	
48	1	山岡鉄太郎書簡	山岡鉄太郎	小河一敏	10月31日	天長節のご拝顔につき	1通	
48	2	山岡鉄太郎書簡	山岡鉄太郎	小河一敏	[明治14年]10月24日	宮内省お入りについて29日までは英国皇孫あり取り込み中だが30日以後であればいつでも差支えなし	1通	
48	3	山岡鉄太郎書簡	山岡鉄太郎	小河一敏	10月17日	先ごろお預かりの書類はまず小生手元に仕舞い置く、いずれ拝顔の上申しあぐべし、ご都合次第宮内省までご足労願う	1通	
49		柳原光愛書簡	柳原光愛	小河一敏	1月14日	新年のあいさつ、相変わらず修撰御用ご奉職大賀	1通	
50	1	柳原前光書簡	柳原前光	小河一敏	9月7日	修史館中御系図取調事務・内務社寺局中陵墓事務を宮内省に申しつくべき件の見通し、日本紀類ご所持あるいは修史館にあれば鳥渡拝見願いたし	1通	
50	2	柳原前光書簡	柳原前光	小河一敏	7月	面会予定の変更依頼	1通	
51		矢野勘三郎書簡	矢野勘三郎	小河一敏	3月10日	1月29日宇佐神宮禰宜拜命と赴任後の様子につき報告	1通	
52	1	結城筑後守(秀伴)書簡	結城筑後守(秀伴)	小河一敏	9月3日	ご令息様医案お頼みの件は現在流行の新宮涼民への書状を認めた、ご帰国の善し悪しについての噂報告	1通	
52	2	結城筑後守(秀伴)書簡	結城筑後守(秀伴)	小河一敏	7月25日	幼年の頃よりご愛顧くださった長男秀寿が本月4日に病死したのでお知らせす、拙生先年より岡山県下で郡長拜命	1通	
53		玄仙書簡	玄仙	小河一敏	[慶応4年]閏4月22日	此の程中のご心労お礼筆紙に尽くしがたし、両三日中に一物を引き取りたし	1通	
54		[志水]元祐書	[志水]元祐	小河一敏		不忘初	1通	
55		冬道書簡	冬道	小河一敏	[明治3年]6月9日	ご内話の違令云々の儀は如何相成り候や、出府定めて拝謁も仕るべし、帰庁後悉く承るべし	1通	
56		勝一書簡	勝一	小河一敏	8月28日	仰せ聞かれ候一条宜しき儀と存じ候	1通	
57		翠図書簡	翠図	小河一敏・高山忠夫	1月22日	新年あいさつ、浮浪徒の暴動計画阻止のため旧蠟の賢父一件御書面への返書遅れ申し訳なし、賢父の儀2月上旬早々には上京致すべし	1通	
58		[阿蘇]惟治書簡	[阿蘇]惟治	小河一敏		先祖の勤王の歴史について、今日のご政体のありさまについて、ご周旋願う	1通	
59		中蔵書簡	中蔵	小河一敏	13日	東京の美筆ご投与感謝、散副ご所望につき呈す	1通	

小河一敏関係文書(書簡の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	作成年	内容	数量	備考
60	1	[差出人不明書簡]	[差出人不明]	小河一敏		壬生東京府知事家来長村忠彦の嘆願について	1通	
60	2	久邇宮内■■■■書簡	久邇宮内■■■■	小河一敏	8月29日	『明烏』題字について、御出張中お借上げの書籍三冊の扱いについて	1通	
60	3	[差出人不明書簡]	[差出人不明]	小河一敏	5月17日	自らの処遇について	1通	
60	4	[差出人不明書簡]	[差出人不明]	小河一敏	6日	明日暁天か夕刻に参上す、先日開拓監事仰せつけられた件につき	1通	
61	1	断簡				広瀬へお托しの岡城写真見事、廉夫の事は示談の上のちに申しあぐべし	1点	
61	2	断簡				人名メモカ	1点	
61	3	断簡				兵議のこと	1点	
61	4	断簡				知新日録ほか書物差出の遅れについて、宝積丸の金も未だ入手せず、春霞集落手	1点	
61	5	断簡			1月25日	二冊写し取り返納、今一本は追って写し返上す、去る22日に侍読の宣下を蒙り有難し	1点	

小河一敏関係文書(書類の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	作成年	内容	数量	付属資料
<b>書類の部</b>							
<b>【小河一敏著作】</b>							
62		手引草百首	小河一敏	明治12年2月		1冊	
63		明烏 上・下	小河一敏	明治13年10月		2冊	
64		中川潜叟略伝	小河一敏	明治17年2月		1綴	
65		猪首語草稿	小河一敏	明治17年6月		1冊	
66		王政復古義挙録 上・下	小河一敏	明治19年8月		2冊	
67		義挙私記	小河一敏	慶応2年11月		1冊	
68		入薩日記草稿 (コピー)				19枚	
<b>【小河一敏意見書・覚書】</b>							
69		救済米下付ニ付書上		辰6月		1枚	
70		民部省諮問ニ付答申 (草稿)	白川県・堺県・大津県・■■■ 県・日光県知事	明治2年5月	地方官のあり方について	1枚	
71		建議草稿	小河一敏・朽木■■■	明治2年5月	府と県との名称の区別について、県の管轄地について、飛地の扱いについて	1枚	
72		松方一郎宛意見書	小河一敏	明治2年7月14日	堺県廃止に反対、自らの職務について	1綴	意見書写(野史台罫紙使用)、3枚
73		建議草稿		明治2年11月15日	大蔵省の民部併呑にて云々、全国大会計について	1枚	
74		堺県人事ニ付上申 民部省宛		[明治2年]10月18日	山田時章を堺県大参事に任ずることを希望	1枚	
75		神祇官再立ニ付島津内閣顧問へ奉ル鄙衷		明治6年		1枚	封筒、1枚
76		封事 孝明天皇廟ヲ東京ニ建造ノ件		明治18年6月22日		1綴	封事提出経緯メモ、1枚
77		民部省宛上申書控			※74の控、断簡	1枚	
78		民政会計等ニ付建言草案				1枚	
79		意見書草案			県治振起云々	1枚	
80		建言草稿			宮内大丞増員	1枚	
81		意見書草案			陵墓調査一件	1枚	
82		中川家墓所造営ニ付意見書				1枚	
83		意見書草案			南北朝正閏問題	1枚	
84		意見書草案			家禄平均云々	1枚	
85		建白草稿			金銀のことにつき	1枚	
86		建白書控			徒党をくんだ者の処断について	1枚	
87		建議草稿	小河一敏		皇親系完成のため山城大和辺に出張したし	1綴	
88		一敏口上		5月27日	品物・書状落手、嘉介・幸三郎宿料の件	1枚	
89		意見書断簡			安田一件	1枚	
90		意見書草稿 (断簡)			人材の用い方について	1枚	
91		小河一敏他五名述志		天保8年12月24日		1枚	包紙、1枚
92		僧月照首卷一件				1枚	
93		文久2年大原岩倉会见次第覚書	小河一敏			1枚	
94		寺田屋事件以後勤王事件にて横死人名書上				6枚	包紙(「四月廿三日祭霊名」と記載あり)、1枚
95		寺田屋事件覚書	小河一敏			4枚	

小河一敏関係文書(書類の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	作成年	内容	数量	付属資料
96		覚書	小河一敏	明治16年2月	自身の宮内省出仕につき	1枚	
97		野溝清格ニ関スル覚書		明治16年9月		3枚	
98		宿直ニ付覚				1枚	
99		覚書	小河一敏	明治13年4月	岸良俊助云々	1枚	
100		覚書			西村へ可申要件	1枚	
101		覚書			三宅定太郎云々	2枚	
102		覚書	小河一敏		鏡について	1枚	
103	1	覚書			民部大蔵両省引分けなど民政関係	1枚	
103	2	覚書	小河一敏	6月16日	政府内の会計のあり方につき	1枚	
103	3	覚書	小河一敏	10月22日	宮内大丞増員	1枚	
103	4	覚書	小河一敏	7月16日	楮幣切捨との御目的万賀	1枚	
104		偶感	[小河一敏]			1枚	
105		断簡			啓学館云々	1枚	
106		覚書断簡				9枚	
107		野溝清格鄙言	野溝清格			2枚	包紙、1枚
108		土地開発等ニ付建言控 丞相・亜相宛	高岡・堺・大津・品川・高崎・岩鼻・水原・大宮県	[明治2年]8月5日		1枚	
109		祝詞	小河一敏	明治2年4月1日	北野に宮柱太敷立て鎮り云々	1枚	
110		祝詞	小河一敏	明治14年2月15日	大国魂大国主神の御前に云々	1枚	
111		寺田屋事件記念碑建立募金趣意書	小河一敏、富田通信、黒田清綱、海江田信義、吉井友実	明治14年4月、明治16年4月		2枚	
112		副島ぬし写真の記	小河一敏	明治15年9月		2枚	包紙、1枚
113		副島氏論語疑				1枚	
114		太閤肖像由来(控)	小河一敏	明治16年1月		1枚	
115		歌稿			御苑菊	1枚	
116		謹奉和瑤韻	小河一敏			1枚	
117		墨跡	小河一敏			4枚	
118		身堅行事		明治18年12月16日		2枚	包紙、1枚
119		歌人履歴書				2枚	包紙、1枚
120		古田家譜抜書・考証	小河一敏			1枚	
<b>【小河一敏辞令・通牒】</b>							
121	1	孝明天皇勅意御書付		[文久2年閏8月21日]		2枚	(1)説明書、同文3枚 / (2)包紙、2枚
121	2	孝明天皇勅意御書付写		[文久2年閏8月21日]		4枚	
122		帰国命令		9月		1枚	
123		徴士内国事務局権判事仰付	総裁	慶応4年3月2日		1枚	(1)説明書、1枚 / (2)包紙、1枚
124		任民政租税掛		慶応4年3月2日		1枚	(1)説明書、1枚 / (2)包紙、1枚
125		任港口掛		慶応4年3月10日		1枚	(1)説明書、1枚 / (2)包紙、1枚
126		参与職内国事務局判事仰付	総裁	慶応4年4月[25日]		1枚	
127		任大坂府判事		慶応4年5月		1枚	辞令通達通知コピー、1枚
128		大坂府裁判所兼勤仰付		[慶応4年5月]		1枚	
129		叙従五位下(写)		[慶応4年]5月6日		1枚	

小河一敏関係文書(書類の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	作成年	内容	数量	付属資料
130		免大坂府判事 堺県知事仰付		慶応4年6月29日		1枚	(1)弁事宛小河一敏請書、1枚 / (2)包紙、1枚
131		任堺県知事	太政官	[明治2年]7月		1枚	包紙、1枚
132		任堺県知事	太政官	明治2年7月17日		1枚	
133		民部省返答書	民部省	明治2年11月	※74に対する付札	1枚	
134		県札狭山藩札並賈金引替・堤防救助の儀 専断につき謹慎仰付	太政官	明治3年8月25日		1枚	
135		東京滞在命令	太政官	明治3年8月		1枚	
136		免本官堺県知事	太政官	明治3年8月[19日]		1枚	
137		堺県吏再任ニ付歎願	小河一敏	[明治3年]9月16日	※34-3とほぼ同文	1枚	
138		免謹慎	太政官	明治3年9月26日		1枚	
139		任宮内大丞	太政官	明治3年9月27日		1枚	
140		任宮内大丞	太政官	明治3年9月27日		1枚	
141		任御系図取調御用掛仰付	太政官	明治3年閏10月		1枚	
142		鳥取藩御預け仰付	太政官	明治4年3月		1枚	
143		免本官宮内大丞	太政官	明治4年4月		1枚	
144		小河一敏病氣ニ付帰県延期歎願 元岡県 庁宛	高山忠夫・加藤条之助	明治4年12月25日		1枚	小河一敏療養のため外出許可歎願 元岡県庁宛(明治5年2月)、1枚
145		書物返還ニ付歎願 元岡県庁宛	高山忠夫・加藤条之助	明治5年2月		1枚	
146		歎願書案	高山忠夫・加藤条之助	明治5年2月	※144の付属資料の案	1枚	
147		任肥後国阿蘇神社宮司兼補大講義	三島通庸(教部大丞)	明治6年3月15日		1枚	(1)説明書、1枚 / (2)包紙※126の包紙カ、1枚
148		依願免肥後国阿蘇神社宮司並大講義	教部省	明治6年3月23日		1枚	包紙、1枚
149		補七等出仕仰付	太政官	明治6年11月19日		1枚	
150		除服出仕仰付	太政官	明治7年1月9日		1枚	
151		徳川昭武所蔵之古記類為取調水戸表へ差遣	太政官	明治7年2月20日		1枚	
152		任三等修撰	太政官	明治8年8月28日		1枚	
153		叙正七位	太政官	明治8年10月24日		1枚	
154		山城大和辺差遣	太政官	明治9年7月4日		1枚	
155		任二等修撰	太政官	明治10年1月4日		1枚	
156		罷第四局総括	副総裁	明治10年1月6日		1枚	
157		任四等編修官	太政官	明治10年1月27日		1枚	
158		所蔵書籍献納の段奇特につき金拾円下賜	太政官	明治10年7月5日		2枚	
159		戊辰役後の戦亡人姓名履歴取調仰付	総裁	明治10年9月27日		1枚	
160		任宮内権少書記官	太政官	明治10年10月17日		1枚	
161		御系譜掛仰付	宮内省	明治10年10月18日		1枚	
162		辞職願	[小河一敏]			1枚	
163		依願免宮内権少書記官	太政官	明治11年3月19日		1枚	
164		叙従六位	太政官	明治11年3月19日		1枚	
165		位一級増進金五百円下賜	太政官	明治11年3月19日		1枚	
166		宮内省御用掛仰付	宮内省	明治14年7月2日		1枚	

小河一敏関係文書(書類の部)

資料番号	枝番	タイトル	作成者	作成年	内容	数量	付属資料
167		一ヶ月金五拾円下賜	宮内省	明治14年7月2日		1枚	
168		叙勲五等	賞勲局	明治15年12月29日		1枚	叙勲六等(小河忠夫宛 明治34年6月27日)、1枚
169		礼服換用許可書	徳大寺実則(宮内卿)	明治16年6月15日		1綴	封筒、1枚
170		叙従五位	太政官	明治18年3月13日		1枚	
171		叙正五位	内閣	明治19年1月30日		1枚	
<b>【小河家関係 含一敏伝記資料】</b>							
172		小河家家系図	一敏			1冊	
173		家系調			中川家の家系について	1枚	
174		小河家家譜(1)・(2)				2冊	
175		家譜校正考徴抜書				1綴	
176		祖先事跡考	小河一敏	明治17年7月		1冊	
177		先祖書	小河一敏		中川氏仕官のこと	1枚	
178		先祖書(断簡)	小河一敏			一括 (10枚)	
179		小河の池由来				2枚	
180		旗印			「小河やえもん」	1点	
181		祈祷料他受領書	鳥居高太夫	明治2年3月23日		3枚	封筒、1枚
182		水晶玉受領証	大鳥神社	明治2年8月		1枚	
183		朝鮮銭受領書	博物館	明治6年2月		1枚	
184		射籠手受領証	博覧会事務局	明治6年6月7日		1枚	
185		小河一敏肖像		明治8年ほか		4枚	
186		小河一敏邸写真(コピー)				2枚	
187		方栄社株金証	方栄社	明治10年8月3日		1枚	(1)諸経費計算書、1枚 / (2)退社時返金証書、1枚 / (3)包紙、1枚
188		木盃一個下賜	東京府庁	明治13年5月	博物館への献納品への賞	1枚	
189		知人宿所留		明治14年		1冊	
190		祖霊神社奉納書籍書上				1枚	
191		名簿			小河一敏葬祭関係カ	1綴	
192		小河一敏墓後誌				1枚	
193		小河一敏記念碑建立寄附募集趣意書	発起人堀真五郎・郷田兼徳ほか	明治22年10月		1綴	(1)名簿、1綴 / (2)会計報告書、同文12枚
194		染井墓地小河一敏君記念碑文(石版)		明治24年9月		同文6枚	(1)碑文謄写物、8枚 / (2)封筒、1枚
195		南河内小河一敏記念碑写真及び碑文				2点	
196		南河内記念碑に関する朝日新聞切抜		昭和33年9月16日		1枚	
197		小河一敏伝(補)原稿他				1綴	
198		新聞切抜(小河一敏伝)				1枚	
199		追想小河廉夫君	赤座正直	明治18年4月19日		1枚	
200		小河廉夫長男一麻呂二男信麻呂、副島種臣仮子約束書		明治15年3月24日		1枚	
201		命名書	副島種臣	明治26年9月9日	小河国麿	1枚	

小河一敏関係文書(書類の部)

資料 番号	枝番	タイトル	作成者	作成年	内容	数量	付属資料
<b>【第三者著作・草稿】</b>							
202		大原重成書付	大原重成		楽吉左衛門唐津写水指ノ件	1枚	包紙、1枚
203		岩倉侍従様御書付為書		辰4月5日		1枚	包紙、1枚
204		印影 (菅原道真)				同文3 枚	
205		賦	副島種臣			2枚	
206		皇后御歌				1枚	
207		西郷隆盛墨跡 (複製)				1枚	
208		墨跡				1枚	